

令和3年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用事業について

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の实情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、国が創設した交付金です。

令和2年度に引き続き、利島村においても、本交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域経済の活性化や感染拡大防止に向けた取組を進めました。

令和3年度の利島村における活用事業は次のとおりです。

No	事業名	事業概要	総事業費 (円)	うち交付金充当 額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	効果検証結果
1	農業業者等緊急支援事業	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により、宴会等が自粛され、主力商品の売り上げが激減した農漁業者等に対し、支援金を給付した。	3,000,000	3,000,000	R3.6.1	R3.11.26	収入確保・生活の維持および事業継続を支援することができた。
2	村内事業者支援	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により、休業を余儀なくされた観光事業者等に対し、支援金を給付した。	4,800,000	4,800,000	R3.5.31	R3.7.2	収入確保・生活の維持および事業継続を支援することができた。
3	医療看護体制強化 (派遣看護師の活用)	新型コロナウイルス感染症が疑われる患者が発生した場合に備え、看護師を1名臨時的に増員した。	6,774,445	6,774,000	R3.4.1	R4.3.31	より安定した医療体制を確保できた。
4	議会中継のための環境整備	議会室にカメラ付きパソコンを設置し、令和3年第2回定例会からYouTubeライブで世界へ配信するための環境を整備した。	1,017,500	1,017,000	R3.6.1	R3.7.9	議会傍聴による人の密集を避けることができ、感染予防の環境を構築できた。
5	テレワーク環境 (どこでも電話システム導入)	職員がテレワーク中や、現場でも役場の電話に出られるような環境を整備した。	1,778,572	258,000	R3.10.11	R4.3.31	在宅や現場でも即座の対応が可能となり、より迅速に対応を行うことができるようになった。
6	港・山頂方向展望カメラ整備事業	村民がなるべく外出を減らせるよう、自宅から港・山の状況を確認できるようライブカメラを庁舎屋上に設置した。	7,543,184	7,543,000	R3.10.1	R4.3.22	港への船の就航や海況確認、および農作業に伴う山への霧確認のための外出抑制を行えた。
7	テレワーク環境 (インタラクティブホワイトボードの導入)	職員がテレワーク中でも会議内容が共有できるよう、インタラクティブホワイトボードを導入した。	1,611,060	1,611,000	R3.11.1	R4.1.14	テレワーク中でも、在庁時と同様に、会議内容の共有や意思疎通を迅速に行えるようになった。
8	庁舎内執務室エリアのフリーアドレス化	庁内執務室の職員同士の密を回避するとともにテレワークの促進を目的としフリーアドレスデスクを導入した。	2,231,788	769,000	R3.9.17	R3.12.24	職員に新型コロナウイルス感染者が発生した時、職員間に十分な間隔が空いていたため、他職員への感染拡大を防げた。
合計			28,756,549	25,772,000			